

## 産業建設委員会

視察日 10月10日～12日

北海道新十津川町 スマート農業の取組、スマート農業技術の開発・実証プロジェクト  
北海道室蘭市 水素サプライチェーン構築実証事業、カーボンニュートラル実現への取組、AIによる道路管理の省力化

### スマート農業の取組

新十津川町は、農家戸数の減少が続く、現在の耕地面積を維持していくためには1戸当たりの耕作面積を増やす必要があった。水稲を主としていることから、農作業の約8割が春に集中するため、面積拡大には春作業の省力化、効率化に取り組む必要があり、スマート農業の普及が鍵になると考えた。

令和元年度から、JA、土地改良区、農業改良普及センターと共にコンソーシアムを組織し、町を挙げてスマート農業の推進に着手した。元年からの2年間は、農林水産省の補助を受け、農業関係団体や農機具メーカーと共に、町内の実証農家においてスマート農業技術の効果を検証した。

スマート農業機械は、自動運転トラクター、田植え機、コンバインといった水稲作業の基幹となるものへ最新の機械を導入し、それぞれの効果を示すことで、農業者が優先順位をつけないがに必要な機械を導入していく指標を示すことを目指した。結果的に目標数値を上回る作業時間の削減効果が見られた。

町を挙げてスマート農業に取り組むことを決めた新十津川町の姿勢と、

地元農家の実証事業によりその効果を示す手法は参考となる。

### 水素サプライチェーン構築実証事業

室蘭市は製鉄・製鋼業、石油化学工業を中心とする港湾工業都市であり、次世代産業の振興として、水素サプライチェーンの構築実証事業に取り組んでいる。移動型水素ステーションの整備や、灯油やLPGガスの配送網を利用した水素の宅配事業を実施した。

水素ステーションで利用される蓄圧器や水素を詰めるタンクには、市内の事業所の技術が使われているため、水素社会が本格的に到来すれば、市内の事業所が潤い、市の税収も増えると考え、室蘭市成長産業ビジョンの作成や室蘭脱炭素社会創造協議会をつくり、次世代エネルギー産業の振興に取り組んでいる。



室蘭市は、水素エネルギーの普及により、地元の製造業にどのような恩恵があるのかというところまで見据え、大きな構想をつくっている。能代市においても市内の産業と次世代エネルギー産業がリンクして発展していく将来像を示していく必要があると感じた。

### AIによる道路管理の省力化

室蘭市では、室蘭工業大学との共同研究を行い、費用が安価な車載カメラとAIを用い、路面画像からひび割れを自動検出し、道路のひび割れ率の検出とリンク付を行っている。

(今野孝碩)

## 議長の主な動き

10月～12月

- ・能代市民スポーツ大会総合開会式
- ・秋田県後期高齢者医療広域連合議会定例会
- ・日本海沿岸東北自動車道建設促進秋田県北部期成同盟会 秋田県北部地域秋期合同要望
- ・きみまちの里フェスティバル マラソン開会式
- ・能代山本広域市町村圏組合議会定例会
- ・秋田県北部市議会連絡協議会総会のしる産業フェア開会セレモニー
- ・全国市議会議長会研究フォーラム in 北九州
- ・能代厚生医療センター病院運営委員会
- ・全国市議会議長会 空き家・空き地問題に関する特別委員会
- ・銀河連邦フォーラム
- ・全国過疎地域連盟定期総会
- ・秋田県北部市議会連絡協議会中央要望
- ・日本海沿岸東北自動車道沿線市町村建設促進大会
- ・秋田県市議会議長会臨時会
- ・秋田県知事との行政懇談会
- ・日本海沿岸東北自動車道北部期成同盟会 秋期合同要望
- ・能代山本広域市町村圏組合議会臨時会、全員協議会

## 議長の交際費を公開します

《10月～12月分》

- ・きみまちの里フェスティバル きみまち二ツ井マラソン歓迎レセプション 5000円
- ・次世代エネルギーフェスティバル in 能代 懇親会 6000円
- ・関東能代会の集い 総会・懇親会 10000円

※詳しくは本庁舎1階の行政情報コーナーで閲覧できます。  
※議長交際費は「能代市長の交際費に関する規定」に準じて支出しております。

## 意見書の提出

12月定例会では、4件の意見書を可決し、関係行政へ提出しました。

- ◆安全・安心の医療・介護実現のため人員増と処遇改善を求める意見書提出について
- ◆国民の命と健康を守るため、政府の責任で医療・介護施設への支援を拡充し全てのケア労働者の賃上げや人員増を求める意見書提出について
- ◆学校における教員不足と長時間過密労働解消のために、基礎定数改善による正規教員増を求める意見書提出について
- ◆子供の医療費助成を中学から高校卒業まで引き上げることを求める意見書提出について